

平成 12 年度石川県保育士試験問題

児童心理学 (その1)

1 次を示した各用語について、下の記述群から正しいものをすべて選び、[] 内にその番号を記入しなさい。

(1) [] 具体的操作

1. 自分の思考そのものを思考することができ、予め周到な思考計画をたてることができる。
2. 可逆的思考が可能になり、いわゆる保存課題に正答することができる。
3. 具体的内容が異なると、論理的構造が同じ課題でも解けたり解けなかったりする。
4. ものを関連づけて考えることができるが、知覚によって思考が混乱してしまう。

(2) [] 観察学習

1. 他人の行動を見て、自分もその人と同じような行動をするようになる。
2. ほめられたり叱られたりして、望ましい行動が獲得される。
3. テレビドラマを見て、その登場人物と同じような行動パターンを獲得する。
4. ほめられている子どもを見て、その子どもと同じような行動をするようになる。

(3) [] 一次のことば

1. 児童期以降は使われない話しことば。
2. その場の状況の助けを借りずに使用され理解されることば。
3. まだ十分に社会化していない自己中心のことば。
4. ごく親しい人との間で多く交わされることば。

2 次の文の a～d の [] 内に挿入すべきもっとも適切な用語を、下の a～d の各語群から選択し、その番号を [] 内に記入しなさい。

乳幼児も、環境からの刺激を一方向的に受けるだけでなく、自ら環境に積極的に関わることができる。これをホワイトは a [] と呼んでいるが、伝統的動機づけ理論とは異なる動機づけがそれに関わっている。他方、子どもの発達、子どもが関わる環境の特性にも左右され、このような有能感を伸ばすには、b [] 環境が有効であると考えられる。例えば、乳幼児が示すさまざまなシグナルを上手に読みとる能力を c [] というが、この c [] に支えられた適切な反応を、子どもに d [] 返してやることが重要である。

- | | | | | | |
|-----|--------|------------|-------------|--------------|-----------|
| a 群 | 1. 応答性 | 2. コンピテンス | 3. 自律性 | 4. レディネス | 5. 初期動機づけ |
| b 群 | 1. 指導的 | 2. 刺激の多い | 3. 制約の少ない | 4. 整理された | 5. 応答的 |
| c 群 | 1. 理解性 | 2. 受容性 | 3. 敏感性 | 4. 感受性 | 5. 接近性 |
| d 群 | 1. 明確に | 2. タイミングよく | 3. 情報を豊かにして | 4. 暖かい雰囲気の中で | 5. 冷静に |

受験番号

| |
|------|
| 受験番号 |
| |

平成12年度石川県保育士試験問題

児童心理学(その2)

3 次の各記述または用語について、もっとも関連のあるものを下の語群からひとつ選び、前の [] にその番号を記入しなさい。

[] 新しいことを理解するために、自分の知っているやり方で考えてみる。

1. 同化 2. 調節 3. シェマ 4. 動機づけ 5. 環境との相互作用

[] ジェンセンの環境閾値説

1. 発達はその環境要因の整備状況に依存する。
2. 発達には、環境要因が重要な役割を果たすが、それよりも成熟が重要な機能を果たす。
3. 発達するものによって、素質が環境要因の影響を受ける度合いが異なる。
4. 発達するものによって、遺伝要因と環境要因の関与の度合いが異なる。

4 子どもが自己をどのように認識するかについては、子どもの発達において一定の機能を果たしていると考えられる。幼児期、児童期を中心に、その主なものについて簡潔に説明しなさい。

5 子どもの発達にとって、遊びはどのような意味をもち、どのような機能を果たすと考えられるか。特に重要であると考えられる点を取り上げて、簡潔に述べなさい。

| |
|------|
| 受験番号 |
| |